野良になる

会期：2024 年 4 月 13 日（土）－11 月 17 日（日）十和田市現代美術館

国内外の若手作家 4 人による、多様な視点から自然を捉えた作品を紹介

十和田市現代美術館では、4 月 13 日（土）―11 月 17 日（日）の会期で、国内外の若手作家 4 人による展覧会「野良になる」を開催します。

年々上昇する気温と、それに伴い激しさを増す自然災害。私たちの生活を支えていると思っていた自然環境は不安定性を増し、人間の自然に対する関係を再考することが求められています。しかし現在私たちが知る「人間」のあり方そのものが、自然を管理すべきものとして収奪してきたのだとすれば、そのおなじ「人間」が自然を「救う」ことができるのでしょうか。本展では近代が生み出した自律した主体としての「人間」を見直し、そこから排除された存在や思考に目を向けます。私たちの思考を規定するさまざまな二項対立的な枠組みの境界を撹乱しつつ強かに――野生でも飼われるのでもなく野良のように――息づくあり方や物語に出会うことになるでしょう。

日本とアメリカにルーツを持ち、トランスジェンダー女性として生きるあり方を彫刻で表現する**丹羽海子**、学校教育を離れ、独学でドローイングを柔らかいウールへと変換し風景を描く**大原蓉子**、品種改良や養殖といった人間のコントロールと動植物の生の関係を取り上げ、映像や料理の作品を作る**永田康祐**、ブラジルに植民地時代以前から伝わる知識をもとに、植物と人間の関係を問い直す作品を制作する**アナイス・カレニン**など、多様な視点から自然を捉える若手アーティストの表現を紹介します。

AOMORI GOKAN アートフェス 2024「つらなりのはらっぱ」 メイン企画

本展は、2024 年 4 月 13 日（土）―9 月 1 日（日）に開催する AOMORI GOKAN アートフェス 2024 のメイン企画の一つになります。フェスのテーマ「つらなりのはらっぱ」を自然と人間の交わるところと捉え、その複雑に絡まる関係性に注目した展覧会です。

五感に訴える現代アート

彫刻や映像作品のほか、サウンドや香りを用いた作品、触覚に訴えるテキスタイル、食べることのできる料理の作品など、さまざまな感覚を通してアートを感じることができます。

お問い合わせ
十和田市現代美術館　広報：大谷（おおたに）
Tel. 0176-20-1127　Fax. 0176-20-1138　press@towadaartcenter.com　www.towadaartcenter.com

Arts Towada

【 出展作家／展示作品 】

丹羽海子（にわ・うみこ）

出展作品

身近な素材から彫刻を作る丹羽は、ペットボトルや、廃棄された電化製品など不要になったものを分解・再構成し、炭化させた植物などの有機的なもの、さらに丹羽にとって喪失や孤独の象徴であるコオロギを組み合わせた新作の彫刻インスタレーションを展示します。害虫として駆除されたり、人間が飼う愛玩動物の餌として売られるコオロギたちが、人間の消費社会が生み出すゴミでできた街に集う様子を表現します。

参考図版 丹羽海子《Baby Shoe Series: My Daughter Beluga》
2023 年 Courtesy the artist, xyz collective, and Someday, New York

プロフィール

©Umico Niwa, 2022, Photography: Colin

1991年愛知県生まれ、アメリカを拠点に活動。西洋的な主体概念を否定し、身体やジェンダーに拘束されないオルタナティブな主体のあり方を彫刻を通して探究している。萎れた花や、熟したフルーツといった有機的な素材を用いて、儚く移ろいやすい存在を表現する。主な個展に「靴の中の暮らし（幻影コオロギ）」(Fig.、東京、2023)、「The Quantified Elf (and how it came to love itself)」(Someday Gallery、ニューヨーク、アメリカ、2022）、グループ展に「The Invention of Nature」(Nino Mier Gallery、ロサンゼルス、アメリカ、2023)、「もうすぐ春ですね」（XYZ Collective、東京、2022）など。

参考図版 丹羽海子 《Metropolis Series: Good Egg Community》2022 年
Courtesy the artist and Someday, New York 撮影：Daniel Terna

墓原蓉子（だいはら・ようこ）

出展作品

墓原は、青森県内で奥入瀬渓流や恐山、六ヶ所村などを訪れ、広大でときに畏怖を感じさせる自然が織りなす景色と、そこに住む人々の生活の様子、自然との精神的なつながりなどを目にしました。都市に住む作家にとって新鮮に写った人間と自然の多様な関係のあり方を、作家自身の身の回りの観察とも織り交ぜ、ウールを用いたテキスタイル作品５点として発表します。

参考図版 墓原蓉子 《それじゃわからない》 2022 年
©Yoko Daihara, courtesy of Take Ninagawa, Tokyo.

プロフィール

©Yoko Daihara, courtesy of Take Ninagawa, Tokyo.

1989年千葉県生まれ、東京都を拠点に活動。ドローイングで構成したイメージを、ウールを用いたテキスタイルへと変換して制作している。日常で出会う植物や風景など様々なモチーフを紡ぎ合わせ、カラフルで空想的な心象風景を描く。主な個展に「project N 88 墓原蓉子」（東京オペラシティ アートギャラリー、2022）、「食べてください食べないでください」（Take Ninagawa、東京、2022）など。美術家の冨樫達彦、渡邉庸平とともにアーティストランスペース兼食堂である Lavender Opener Chair・灯明を運営。

参考図版 墓原蓉子《ネジ》2022 年
© Yoko Daihara, courtesy of Take Ninagawa, Tokyo.

お問い合わせ
十和田市現代美術館　広報：大谷（おおたに）
Tel. 0176-20-1127　Fax. 0176-20-1138　press@towadaartcenter.com　www.towadaartcenter.com

Arts Towada

アナイス・カレニン

出展作品

植民地化の歴史と人間による植物の管理との絡まりに関心を持つアナイス・カレニンは、東北地方において近代化以前に人々が築いていた植物との関係性や、現代の森林の植生の管理方法をリサーチしてきました。本展では新作の彫刻と香りを組み合わせた室内のインスタレーションと、サウンドと植物で構成する実験的な庭のインスタレーションを展示します。庭は、春から秋まで会期を通して生きている植物の変化を感じられるものになります。

参考図版 アナイス・カレニン《リコマペ》2022 年
撮影：竹久直樹

プロフィール

撮影：加藤甫

1993 年ブラジル、サンパウロ生まれ、近年は日本を拠点に活動。ブラジルに植民地時代以前から伝わる、薬効を持つ植物に関する知識体系を研究し、植物との親密な関わりを通して植物と人間との関係性を問い直している。アニミズムや神話、植民地主義の歴史、言語、科学などさまざまな分野を横断してリサーチやフィールドワークを行い、香りやサウンドといった五感に訴える包括的な表現方法で、植物を新たな姿で捉える作品を制作している。主な個展に「Things named [things]」（The 5th Floor、東京、2023）、「Mediate Plants」（工房 親、東京、2023）など。サン・パウロ大学博士研究員、早稲田大学客員研究員及びティーチングアシスタント。

参考図版 アナイス・カレニン《名無き遷移》2023 年
撮影：竹久直樹

永田康祐（ながた・こうすけ）

出展作品

十和田湖のヒメマス養殖に関するリサーチを通して、養殖における人間とサケ科の魚との関係性に関心を抱いた永田は、サーモンの視点から見た世界を想像する映像作品《Becoming Salmon》と、人間の立場から他種の視点を想像するということについて文化人類学者やアーティストらとディスカッションした映像作品《How to Become a Salmon》を展示します。さらに、7 月と 11 月には、食糧生産と動植物の生に関する考察をコース料理形式にまとめた、実際に食べて味わうことのできる作品《Feasting Wild》も発表します。

参考図版 永田康祐 《Purée》 2020 年

《Feasting Wild》

青森で行った養殖・品種改良に関するリサーチをもとに考案したコース料理を作品として発表します。季節に合わせた 8 皿程度の料理とドリンクをアーティストによって書かれたテキストとともに実際に味わうことができます。

夏　日時：2024 年 7 月 14 日（日）、20 日（土）、21 日（日）18:00-21:00
　　料金：8,000 円 ／ 定員：8 名 ※要予約 (4 月 1 日午前 0 時販売開始)
　　会場：14-54（十和田市稲生町 14-54）

秋　日時：2024 年 11 月 10 日（日）、16 日（土）、17 日（日）18:00-21:00
　　料金：未定 ／ 定員：8 名 ※要予約 ／ 会場：14-54（十和田市稲生町 14-54）

参考図版 永田康祐 《Feasting Wild》 2022 年
撮影：奥祐司

お問い合わせ
十和田市現代美術館　広報：大谷（おおたに）
Tel. 0176-20-1127　Fax. 0176-20-1138　press@towadaartcenter.com　www.towadaartcenter.com

Arts Towada

プロフィール

1990年愛知県生まれ、神奈川県を拠点に活動。自己と他者、自然と文化、身体と環境といった近代的な思考を支える二項対立、またそこに潜む曖昧さに関心をもち、写真や映像、インスタレーションなどを制作している。近年は、食文化におけるナショナル・アイデンティティの形成や、食事作法における身体技法や権力関係、食料生産における動植物の生の管理といった問題についてビデオエッセイやコース料理形式のパフォーマンスを発表している。主な個展に「イート」(gallery αM、東京、2020)、グループ展に「見るは触れる 日本の新進作家 vol. 19」(東京都写真美術館、2022)、あいちトリエンナーレ(愛知県美術館、2019)など。

【 パブリック・プログラム 】

担当学芸員によるギャラリートーク

日時：2024 年 4 月 27 日（土）14:00–14:40 ほか

会場：十和田市現代美術館 企画展示室 ／ 料金：無料 ※要企画展チケット

※上記の他にも、会期中にパブリック・プログラムを予定しています。詳細は後日 web サイトにて発表します。

【「野良になる」展 オリジナルグッズ販売 】

グラフィックデザイナー加納大輔による本展のメインビジュアルや、出展作家の作品をモチーフとしたオリジナルグッズを、美術館併設の cube cafe & shop より販売します。

トートバッグ

ポストカード

ステッカー

※画像はイメージです。実際のグッズとは異なる可能性があります。

【 cube cafe & shop よりコラボスイーツ販売 】

十和田市の商店街にある創業 70 年の老舗洋菓子店「ふくだ菓子舗」と美術館が共同で、出展作家 墓原蓉子の新作をモチーフとしたチョコレートケーキを開発しました。cube cafe & shop にて、会期中の土日祝日、数量限定で提供します。

「野良になる」展 限定スイーツ ドリンク付き 1,300 円（税込）

お問い合わせ
十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）
Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

Arts Towada

【 AOMORI GOKAN アートフェス 2024 関連情報 】

開幕記念 参加作家によるクロストーク開催

フェスの開幕を記念するトークショーが青森県立美術館で開催されます。第 1 部では建築家・青木淳と、5 館を巡回する《元気炉》を手がけた十和田市現代美術館 常設展示作家 栗林隆、フェスのキーヴィジュアルの写真家岩根愛が登壇。第 2 部では各館のメイン企画に参加する作家が一堂に介します。「野良になる」展からは、**アナイス・カレニン**が登壇します。

日時：2024 年 4 月 14 日（日）13:30–16:00（受付 13:00-）
会場：青森県立美術館 シアター（住所 青森市安田字近野 185）／ 料金：無料 ／ 定員：200 名 ※予約不要
問合せ先：AOMORI GOKAN アートフェス 2024 実行委員会 事務局（青森県立美術館内） TEL 017-783-3000

〇第一部 はらっぱとしての青森」 13:30－14:30
ゲスト：青木淳×岩根愛×栗林隆
モデレータ：木村絵理子（弘前れんが倉庫美術館）

〇第二部 「生のつらなりとアート」 14:45－16:00
ゲスト：井田大介×狩野哲郎×東方悠平×アナイス・カレニン
モデレータ：慶野結香（青森公立大学 国際芸術センター青森）

公式ガイドブック 1,300 円(税込) cube cafe & shop にて販売中！

「野良になる」展をはじめ、各館で開催する展覧会や施設情報、5 館が位置する各市のエリア情報、周辺の観光、グルメスポット、さらには周遊のモデルコースなど充実した内容のガイドブックです。青森県外からの行き方に加え、県内を移動するアクセス情報も掲載。cube cafe & shop 他、各館のミュージアムショップ（青森公立大学 国際芸術センター青森をのぞく）、青森県内の書店、並びにオンラインでも購入可能です。

販売先：各館のミュージアムショップ、青森県内の書店
体裁：A5 変形／全 108 ページ／フルカラー
発行：有限会社グラフ青森
オンライン販売：AOMORI GOKAN アートフェス 2024 公式 WEB サイト
https://aomori-artsfest.com/goods/aomori-gokan-artfest-2024-guidebook/

お問い合わせ
十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）
Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

Arts Towada

【 開催概要 】

展覧会名： 野良になる

会期： 2024 年 4 月 13 日（土）－11 月 17 日（日）

開館時間： 9：00 – 17：00（入場は閉館の 30 分前まで）

休館日： 月曜日（祝日の場合はその翌日）
ただし 4 月 22・29 日、5 月 6 日、7 月 15・29 日、8 月 5・12 日、9 月 16・23 日、10 月 14 日、11 月 4 日は開館。

会場： 十和田市現代美術館

観覧料： 一般 1800 円（常設展含む）、高校生以下無料
AOMORI GOKAN アートフェス周遊チケットをお持ちの方は無料で観覧いただけます。

主催： 十和田市現代美術館

後援： 駐日ブラジル大使館、青森朝日放送、青森テレビ、青森放送、エフエム青森、デーリー東北新聞社、東奥日報社、十和田市教育委員会

企 画： 外山有茉

AOMORI GOKAN アートフェス 2024

共通会期：2024 年 4 月 13 日（土）―9 月 1 日（日）

青森県内にある現代美術を楽しめる５つの美術館・アートセンター（青森県立美術館、青森公立大学国際芸術センター青森、弘前れんが倉庫美術館、八戸市美術館、十和田市現代美術館）では、2020 年から 5 館が連携し、県民や観光客が青森のアート体験と共に、地域の周遊を喚起する「5 館が五感を刺激する―AOMORI GOKAN」プロジェクトを発信してきました。

この５館を中心に「AOMORI GOKAN アートフェス」を初開催します。2024 年度のテーマは「つらなりのはらっぱ」に決定。この地に根差して活動する各館のキュレーターが協働し、展覧会やプロジェクト、パフォーマンスなど、それぞれの館の特徴を活かした多様なプログラムを企画します。一過性のイベントに終わらない、新しい形のアートフェスです。またアートを起点に県内各地域にある自然や食、建築など豊かな文化に触れることを通じて、青森の魅力を発見する機会となります。

web：https://aomori-artsfest.com

十和田市現代美術館

2008 年に東北初の現代美術館として開館。草間彌生、奈良美智、塩田千春、ロン・ミュエクなど世界の第一線で活躍するアーティストらの作品を常設展示しています。美術館の中だけでなく、周辺には公園のようなアート広場があり、子どもから大人まで散策しながら魅力あるアートとのふれあいを楽しむことができます。

所在地：青森県十和田市西二番町 10-9
TEL：0176-20-1127　FAX：0176-20-1138　web：www.towadaartcenter.com

お問い合わせ
十和田市現代美術館　広報：大谷（おおたに）
Tel. 0176-20-1127　Fax. 0176-20-1138　press@towadaartcenter.com　www.towadaartcenter.com

【 広報用図版 】

ご希望画像の作品番号にチェックを入れ、申込みフォームの項目をご記入の上、本用紙を FAX または E-mail にてお送りください。

FAX：0176-20-1138 ／ E-mail：press@towadaartcenter.com
TEL：0176-20-1127 ／ 住所：034-0082 青森県十和田市西二番町 10-9
十和田市現代美術館 広報 大谷 行

【1】

【2】

【3】

【4】

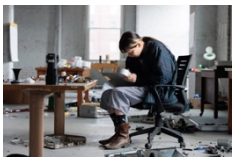
【5】

【6】

【7】

【8】

【9】

【10】


【11】

【12】

【13】

【14】

媒体名 _____

媒体ジャンル 新聞／雑誌／美術誌／テレビ／WEB／その他（　　）

御社名 _____

御担当者名 _____

所在地　〒 _____

電話 _____

メールアドレス _____

【 画像ご使用に際して 】

■クレジットは全て明記してください。

■トリミングはご遠慮ください。

■キャプション等の文字が画像に被らないよう、レイアウトにご配慮ください。

■ご掲載の際は恐れ入りますが校正の段階で美術館までご確認ください。

お問い合わせ
十和田市現代美術館　広報：大谷（おおたに）
Tel. 0176-20-1127　Fax. 0176-20-1138　press@towadaartcenter.com　www.towadaartcenter.com

Arts Towada